



全国学力・学習状況調査の結果と御菌小の取り組み

本年4月に6年生を対象に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校の調査結果は研修会で分析し、今後の取り組むべき方向性を確認しました。成果や課題を家庭・地域とも共有し、さらに取り組みを充実させていきます。

【教科に関する調査結果(平均正答率)】

教科	国語	算数	理科
本校 (全国比)	64 (-2.8)	57 (-1.0)	55 (-2.1)
三重県	66	57	56
全国	66.8	58.0	57.1

＜各教科の成果(○)と課題(●)＞



国語 「書くこと」に成果があり、「読むこと」に課題がありました。

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。

◇問題番号1の二 本校の正答率69.4%（全国の正答率63.1%）

【問題の概要】「話し合いの記録」の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する



○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できる。

◇問題番号2の三 本校の正答率71.4%（全国の正答率61.3%）

【問題の概要】「ちらし」の二重傍線部を「調べたこと」を基に詳しく書く

●事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。

◇問題番号3の二（2） 本校の正答率38.8%（全国の正答率51.3%）

【問題の概要】【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。

◇問題番号3の三(1) 本校の正答率 32.7% (全国の正答率 40.8%)

【問題の概要】「話し合いの様子」の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する

《御園小の取り組み【国語】》

- ・全学年で工夫して音読を行い、文章を正確に読む姿勢を身に付けさせる。
- ・日頃から様々な教科で、自分の考えを伝える文を書く場面を設定し、目的や意図に応じ工夫して作文する経験を積ませる。図や表を用いるなど、発達段階に合わせて相手に伝わりやすい文を書く方法を身に付けさせる。
- ・日常的な会話を含め、児童が使う言葉に対して類義語やより適切な言い回しを伝え、自然な形で語彙を増やす工夫をする。

算数

「図形」に成果があり、「数と計算」に課題がありました。

○簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる。

◇問題番号1の(3) 本校の正答率 80.0% (全国の正答率 71.6%)

【問題の概要】示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ

○平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができる。

◇問題番号2の(1) 本校の正答率 74.0% (全国の正答率 58.3%)

【問題の概要】示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ

●棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。

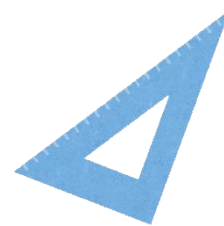
◇問題番号1の(1) 本校の正答率 66.0% (全国の正答率 78.7%)

【問題の概要】ある年の全国のブロッコリーの出荷量は、別の年の全国のブロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ

●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる。

◇問題番号3の(2) 本校の正答率 14.0% (全国の正答率 23.0%)

【問題の概要】 $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/$



《御園小の取り組み【算数】》

- ・ 日頃から様々な教科で図や表を用いて説明する機会を作り、図や表が表している数値や内容を正確に読み取る練習を積ませる。
- ・ 公式の成り立ちを深く理解できるように、図形や具体物を操作して体感的に理解できるように指導を工夫する。
- ・ 正しいやり方を示すだけでなく、間違った解法から正しい解法を導くなど、児童の思考を揺さぶることで応用力を引き出す工夫をする。
- ・ ICTを活用しながら、具体物を示して分数の意味を理解できるように指導を工夫し、理解したことを説明し合う場面を作り、理解を深める。

理科 「粒子」を柱とする領域に成果があり、「エネルギー」を柱とする領域に課題がありました。

○水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができる。

◇問題番号4の(1) 本校の正答率 56.0% (全国の正答率 50.6%)

【問題の概要】水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く



○水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。

◇問題番号4の(2) 本校の正答率 82.0% (全国の正答率 64.2%)

【問題の概要】水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ

●身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている。

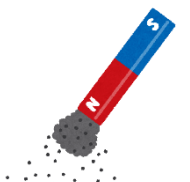
◇問題番号2の(1) 本校の正答率 2.0% (全国の正答率 10.6%)

【問題の概要】アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ

●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。

◇問題番号2の(3) 本校の正答率 70.0% (全国の正答率 78.0%)

【問題の概要】ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる



磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く

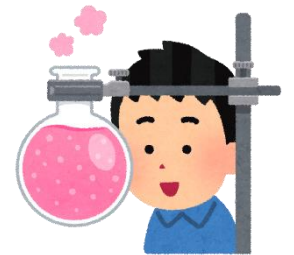
《御園小の取り組み【理科】》

- ・実験や観察を正確に記録できるように、用いる単位や条件を確認し、目的に合った図や表を活用して書き表す練習を積ませる。
- ・データを「比較」したり「変化」を見つけたりするための視点を意識させ、実験や観察の結果から適切に分析できる力を身に付けさせる。
- ・実験や観察の結果から読み取った傾向や規則性を説明する練習を積ませる。
- ・説明のひな形を示し、そのひな形を使って考え、グループワークなどで一人ひとりが説明する機会を設ける。

児童質問紙調査 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果で、特徴的な項目を紹介します。

【 全国平均を上回っていた項目 】

- ・朝食を毎日食べていますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・学校の授業以外に月曜から金曜で1日30分以上読書をしますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



【 全国平均を下回っていた項目 】

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・学校の授業以外に月曜から金曜で1日1時間以上勉強をしますか。



《結果から分析した御園小児童の現状と今後の取り組み》

- ・ご家庭で、規則正しい生活習慣を心掛けていただいている。
- ・友達を尊重しながら、互いに成長できるよう学び合っている。
- ・読書に慣れ親しんでいる。
- ・地域とのつながりを大切に思っている。
- ・自分に自信がないところがあり、夢や目標を持てずにいる。
- ・家庭学習の習慣に課題がある。

一人ひとりの児童に寄り添い、本人の良さをしっかりと伝わる形で声掛けをしていきます。宿題の出し方を工夫したり、自主学習の計画を立てさせやりがいを持たせたりするなど、家庭学習の習慣化を図ります。地域の人材を活用し、キャリア教育の充実を図ります。

